

あいさつ

## 地域がんフォーラム開催に寄せて



人口構造の高齢化に伴い、がん、心疾患、脳血管疾患などの生活習慣病が増加しています。とくに、がんの増加が著しく、2人に1人ががんに罹り、3人に1人ががんで亡くなる時代となりました。10年後には3人に2人ががんに罹り、2人に1人ががんで亡くなるとも言われています。

がん対策を進めていく上で、県民の皆さま一人ひとりが、いつかは自分のがんになるかもしれないという意識を常に持ち、積極的にがんを予防し、検診を受けることが大切です。

また、がんになっても自分の治療法や療養生活のあり方を主体的に選択することができるよう、県民の皆様ががんに対する正しい知識を身につけることが必要となります。

これに加えて、予防や診断、治療を行う検診施設、病院・診療所、在宅看護訪問ステーション等の各施設間の連携も非常に重要となっております。

このようなことから、県内でがん診療の中心的役割を担っている各病院が連携する茨城県がん診療連携協議会を設置し、毎年がん公開セミナーを開催してまいりました。今回は一方的な講演形式ではなく、がん患者さんの視点も取り入れた「がんフォーラム」という形で開くことになりました。また、茨城県のがん対策について行政の立場から県民の皆さまがたにお話し、合わせて、がん患者さんやそのご家族のかたからご意見をいただく「タウンミーティング」も同時開催することにいたしました。

がんを巡るさまざまな問題をみんなで考える良い機会にしたいと思います。どうぞ積極的なご参加をお願い申し上げます。

茨城県がん診療連携協議会会長  
茨城県立中央病院長 永井 秀雄

## 茨城県がん対策タウンミーティング開催に寄せて



一般の県民の方、また、患者さんやご家族、さらには地域の医療従事者・行政関係者が、がん対策全般について、どんな思いを抱かれているのか、日頃感じられている点、気づかれている点を題材に、一堂に会して話し合い、様々な角度から問題を掘り下げ、理解を深めることを目的として、タウンミーティングを開催するものです。

そのため、今回のタウンミーティングでは、従来の講演会やシンポジウムとは異なり、会場で、全ての参加者からのご意見を紙に書いていただきそれをディスカッションの契機とし、また、出席されている方一人ひとりが自由にご意見を述べるようにして、出来るだけ多くの参加者からの意見を頂戴することとしております。

このようにして頂戴した意見や議論の結果は、行政や各がん診療連携拠点病院等において、それぞれ、がん対策の計画や施策の実施にあたって、大いに参考とさせていただきますと存じます。

本日、ご参加いただいたことに感謝申し上げますとともに、活発な議論をいただきますようお願い申し上げます。

茨城県保健福祉部次長兼  
保健予防課長 青山 充

# 目 次

## 【つくば会場】

プログラム	1
基調講演 1 「茨城県のがん対策について」	2
基調講演 2 「緩和ケアと生活の質の向上について」	11
基調講演 3 「がん対策－患者の立場より」	18
自由討論	25

## 【水戸会場】

プログラム	45
基調講演 1 「茨城県のがん対策について」	46
基調講演 2 「緩和ケアと生活の質の向上について」	58
基調講演 3 「がん患者として歩んで」	70
自由討論	78

## 【参考資料】

会場に寄せられた意見要望等	97
水戸会場アンケート結果	104
イベント掲載記事	107